



■5月30日(水) 総合B「私たちの魅力ある未来を創る力」プロジェクト

現在、第2学年では、総合Bを上記のプロジェクト名で行っております。第1学年で室積地区でのボランティアを行ったので、そこからつながって、本年度は「働く」ことを考えています。

光市「雇用の日」メッセージフェアに参加して

雇用の日メッセージフェアとは

光市が行っている行事です。光市は、毎年5月31日を光市『雇用の日』と位置付け、働くことの大切さや雇用の確保・安定を目指した情報を発信する取組みとして、行っています。

講演：夢をかなえる3つの魔法～未来のためにできること～（大畠崇央さん）

「夢をかなえる3つの魔法とはなにか？」1校時の総合Bで自分の予想から仮説を立て、その答えを確認するために講演を聴きました。講演の内容から子どもたちが聴き取った答えは以下のようになりました。

- **相手をよく見てよく聞こう**（相手を思うこと）
- **まずはあなたが笑おう**（自分が楽しむ、好きなことが増えると得意なことが増える）
- **小さなチャレンジを続けよう**（繰り返していくこと）

⇒ この3つを心がけると、たくさんの道が待っている！

各クラスで立てた仮説は本校2階の廊下に掲示しております。学校まで足を運ばれる折がございましたら、ぜひご覧ください。

全体講演のあと、「未来の僕たち・私たち！！～いろいろな分野で働く職業人を紹介します～」という光市で働かれている6名の方からお話を聞きました。パンが好きであるという気持ちが伝わってくるCHEZ L'AMI JOTの戸嶋利雄さんのお話、秋田県から移住して漁業を行っている黒子雅之さんのお話、1年以上の時間をかけて商品の製造を行っている河村醤油の河村光昭さんのお話、室積コミュニティセンターの設計などを行っている末延建設の藤本美咲さんのお話、魅力ある光市をPRしている光市役所の温品大輔さんのお話。なかでも、中国ジェイアール株式会社の片野時男さんのお話のなかで、普段子どもたちが利用しているバスは運転手さんたちの温かい心で毎日迎えてもらっていることに気付けた子どもも多かったように思います。お話が終わって、2組山田和宏くんがインタビューを受けました。自分の将来の夢に向け、学校生活でがんばっていることを堂々と話していました。片野さんだけでなく、自分たちが学校生活を送っている光市で働かれている方の生の声を聞くことができ、よい機会になりました。



また、最後に市川光市長から、「信頼される人は、最後まで話を聞くことができる人だ」というお話がありました。すぐにでも学校生活で意識できることであり、1日の締めくくりになりました。

今回の「雇用の日」の参加をきっかけに、総合Bでは、「人はなぜ働くのか？」をテーマに、仮説を立て、その検証のため活動を行っていきます。第2学年の総合Bは、子どもたちが卒業を迎える第3学年の総合Iにつながる大切な時間です。「働く」ことを視点に、87人で考えていける豊かな時間にしていきたいと思います。